



## 心躍るクリスマス

おはなし会ダンボ クリスマス会・12/18

No.5

おはなし会ダンボによるクリスマス会が、西城自治振興センターで開催され、約30人が参加しました。おはなし会ダンボは、読書活動を通して豊かな心を育むことを目的に、西城地域を中心に活動しています。

クリスマス会では、絵本の読み聞かせや、人形劇団きりりによる人形劇が披露されました。人形劇では、劇団員が作り出す物語の世界観に浸っていました。

最後は、サンタクロースからプレゼントも配られ、大盛り上がりの日になりました。

参加者は「人形が細かいところまで作られていて、とてもかわかった」と話しました。



▲人形劇を観賞している子どもたち

## 街道の休憩スペースとして

地域住民によるボランティア清掃・12/5

No.7

東城自治振興区上町自治会による、まちかど広場(三楽荘前)のボランティア清掃が行われ、地元住民11人が参加しました。

この清掃作業は、本年度、街道東城路(東城市街地)が城下町の景観を生かした路面に舗装されたことに伴い「街道沿いを整備し、人々が集う憩いの場所にしたい」との思いから企画されました。

当日は、高圧洗浄機などで広場内の地面の清掃をしたり、ベンチや灯籠の塗装を塗り替えたりしました。

参加者は「まちかど広場がきれいになって良かった。地元の人や観光客など、多くの人に休憩場所として使ってもらいたい」と話しました。



▲清掃活動をする上町自治会の皆さん

## 良い年を願って

門松としめ縄を寄贈・12/24

No.4

庄原市シルバー人材センターしめ飾り門松同好会の会員の皆さんが作成した門松としめ飾りが、市役所本庁舎に設置されました。

作業当日は、市役所正面玄関の両脇に松、梅、ハボタンなどの土台が配置され、30分ほどで高さ約2メートルの立派な門松が完成しました。

この門松やしめ縄の材料は、すべて市内のものが使われており、調達から加工まで会員の皆さんの手によって行われました。

参加した会員は「ことしも立派な門松を作ることができた。令和4年が庄原市にとって、良い年になることを願っている」と話しました。



▲しめ飾り門松同好会の皆さん

## 温かな光でお出迎え

あけぼの荘イルミネーション・12/21

No.6

比和自治振興区の地域マネージャーが中心となり、あけぼの荘にイルミネーションが設置されました。

これは、コロナ渦の影響でイベントなどが中止となり、楽しみが減ったという地域の声を受け「少しでも地域のにぎわいにつなげたい」との思いから企画されました。

イルミネーションは、同施設の玄関口に飾り付けられ、施設の来場者を温かな光で照らしていました。

町内には、これまでイルミネーションで飾り付けされた場所がほとんどなかったため、来場者は「イルミネーションを楽しめる場所ができたのはうれしい。温泉と温かい光で心も体も癒やされた」と話しました。



▲飾り付けの様子

▲光り輝くあけぼの荘

## 神秘的な光で街が輝く

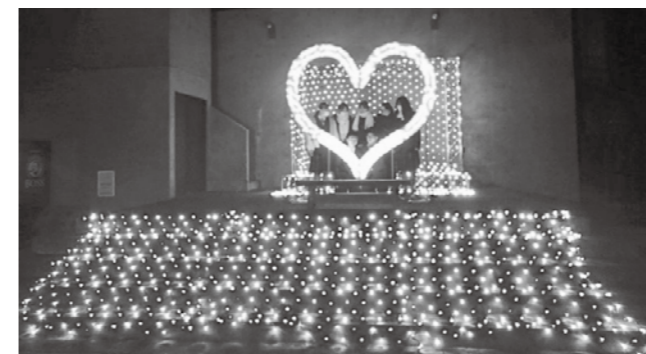
東城まちなみイルミネーション・12/23～1/12

No.1

「街道東城路」(東城市街地)を中心に「東城まちなみイルミネーション」が開催されました。

今年は、東城高校の1年生が総合的な学習の一環で、東城まちなみ保存振興会や地元住民と協力し、街道沿いの各施設やJR東城駅をイルミネーションで彩りました。ハートの形やお通りキャラクター「ほろんちゃん」など、多数の色鮮やかな作品が作成され、街道を訪れた人を楽しませていました。

来場者は「イルミネーションで彩られた街並みは、神秘的でとてもきれいだった。ことしこそ、お通りなどのイベントが開催され、一日でも早く穏やかな日々が戻ることを願う」と話しました。



▲東城まちなみ交流施設「えびす」



▲庄原市三楽荘



▲お通りキャラクター「ほろんちゃん」と東城高校の生徒

## サンタクロースがやってきた

総領保育所 クリスマス会・12/23

No.3

総領保育所で、毎年恒例のクリスマス会が行われました。

園児は、プレゼントをもらうための袋の作成などクリスマス会の準備を進め、この日を楽しみにしていました。

クリスマス会では、サンタクロースが登場。園児はお目当てのプレゼントをもらい大喜び。クリスマスソングに合わせて一緒に踊りました。また、サンタクロースへの質問コーナーでは「煙突がない家にどうやって入るの」「クリスマス以外はどんな仕事をしているの」など、次々に質問をしていました。

園児は「サンタクロースに会えてうれしかった。また来年も来てもらいたい」と話しました。



▲プレゼントを受け取る園児

## 中学生からの贈り物

手作りのおもちゃをプレゼント・12/14

No.2

高野中3年生11人から、高野保育所の園児に手作りおもちゃがプレゼントされました。

今回プレゼントされたおもちゃは、生徒が家庭科の授業で制作したもので、輪投げやボウリング、魚釣りゲーム、福笑いの4点です。

生徒は「みんなが遊ぶ姿を考えながら作りました。楽しく遊んでほしいです」と話し、園児におもちゃを手渡しました。

受け取った園児は、目を輝かせながら大きな声で「ありがとう」とお礼を言いました。

その後、生徒と園児は仲良く手をつないで、高野保育所から高野中学校まで散歩しました。



▲プレゼントを園児に手渡す生徒